

向東だより

令和7年3月

「学校評価アンケート（後期）」報告

平素は本校教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。
先日は『学校評価アンケート』へのご回答ありがとうございました。



本校では、令和6年度下記の学校経営方針にそって、様々な教育活動を行っております。今回、生徒・保護者・教職員を対象に実施した「学校評価アンケート（後期）」を元に、3つの視点で、向島東中学校について分析をしましたので、報告させていただきます。

学校教育目標 『未来の世界を、たくましく生き抜く学び手の育成』



◆目指す生徒像

「愛」 人を大切にする生徒

～人（自他ともに）を大切に思い、つながり、高めあう姿～

「学び」 学びに夢中になる生徒

～学びに没頭し、他者と協働しながら教科の魅力を楽しむ姿～

「志」 自律・自立のもと自己変革できる生徒

～目標を立て、見通しを持ち、自己調整しながら成長する姿～

◆生徒に付けたい資質・能力

『対話力』

○事象との対話…知的好奇心や探究心をもって向き合う姿

○自己との対話…自己理解、自己調整しながら、粘り強く取り組み、
その過程を振り返る中で自己認知につなげる姿

○他者との対話…思いやりをもって、つながり、高め合う姿

【学習について】

今年度は、公開授業週間や教育委員視察、研究発表会など生徒の活動する様子を公開する機会を多く設定することができました。教職員の授業改善チームの取組だけでなく、生徒自身も授業を参観し、自分たちの学びについて考えられたことで、生徒が主体的に学習に取り組む姿勢につながったと思われます。



向島東中学校では「学び」を、“既知ながら未知なものに出会うこと”と定義しています。「授業の満足感や達成感」については、生徒、保護者、教員がそろって75%を超える肯定評価となりました。

読書や学校行事、日常生活での様々な体験は知見を広げることにつながります。

引き続き、「授業で学習内容を理解する→授業外で復習に取り組む→理解をより深めるため、さらに学ぼうとする」という「学びの好循環」に加え、彩り豊かな学校教育活動を進めてまいります。

【生活面について】

24時以降に就寝する生徒の割合は29.4%で、前年度に比べると0.7ポイント減となっていますが、55.6%の生徒が23時以降に就寝しています。平日のネット使用時間が2時間以上と答えた生徒は76%を占め、スマホの使用時間との因果関係を考えられるとともに、成長期の子どもたちの健康面への影響が心配されます。

習い事等のために帰宅が遅くなることもあるかとは思いますが、生活リズムを整えることが心身の健やかさにつながります。子どもたちと十分に話し合った上で、使用的約束を決めていくことが大切です。



【豊かな心の育成】

経験は大きな糧になります。縦割りの学校行事や全校道徳の取組をはじめ、すべての教育活動において生徒が主体的・対話的に関わり学び合う場面を大切にしています。12月の研究発表会では、生徒が自ら語り、自分の学校の良さを伝えるという機会が大変貴重な経験となりました。その際、来校者から寄せられたメッセージを通して、向島東中学校について客観的に知ることができたことは、向島東中学校を誇りに思う気持ちが高まった一因となっています。引き続き、一人ひとりの挑戦する気持ちを大切にしながら、様々な考えに触れ、経験することを通して、想像力を養い、これからの中学生として学び続ける生徒の育成を目指していきます。

「未来の社会を、たくましく生き抜く学び手の育成」を目指して